



警察庁

National Police Agency

2024

【採用に関するお問い合わせ先】

警察庁長官官房人事課

東京都千代田区霞が関2-1-2

03-3581-0141 (内線2631)

E-mail : jinji@npa.go.jp

警察庁案内



警察庁採用HP



説明会予約は
マイページ登録から



警察庁マイページ2024

警察庁警察官(スペシャリスト候補)

採用案内

国家公務員採用一般職試験(大卒程度・全区分)

本省庁採用

Contents

01 ORGANIZATION 04

警察庁警察官とは

警察とは

警察の各分野

02 JOB & CAREER 16

キャリアステップ

03 EDUCATION & WORKSTYLE 26

人材育成と働き方

04 TALK SESSION 34

中堅職員座談会

若手職員Q&A

採用Q&A

今、警察には変化が求められています。

実空間と融合するサイバー空間の拡大、少子高齢化等の進展による社会構造の変容、道路交通における新たなモビリティの出現、国際情勢・テロ情勢の変化など、社会情勢が急激に変化する中で「警戒の空白」を防ぎ、治安責任を全うするためには、警察も変わり続けなければなりません。

一方で、警察庁の仕事の意義が変わることはありません。

我々の仕事は、国家、社会、何より国民の利益に直結しています。

都道府県警察の現場で指揮を執る時、霞が関において政策立案を担う時、どんな仕事に取り組んでいる時であっても、世の中のために役立っている自分を実感できます。

今、警察庁は待っています。

社会の変化を予測する先見性、新たな政策を描く柔軟な発想力、それを具体化する実行力、そして揺るぎない正義感と豊かな人間性にあふれる皆さんを。

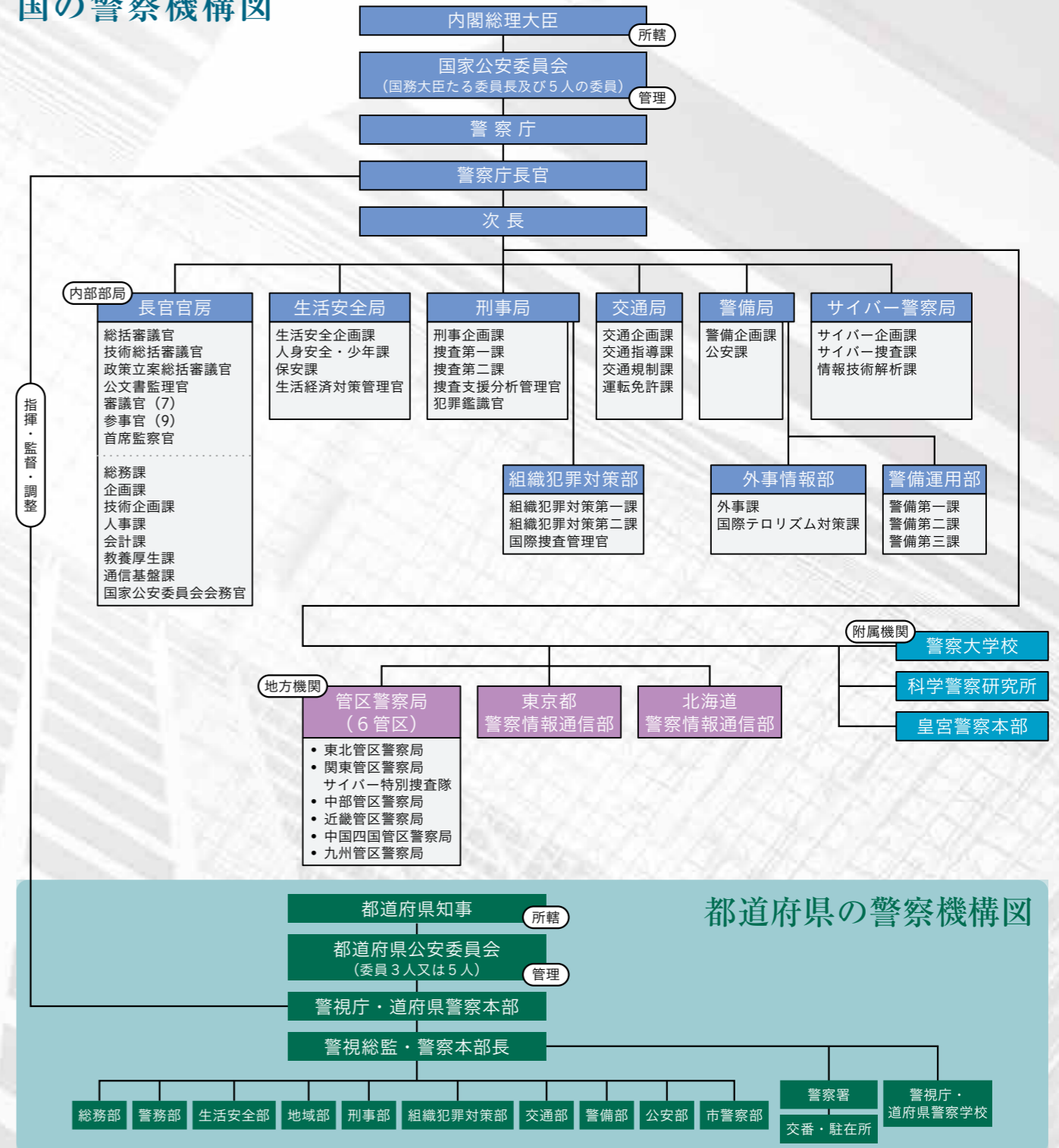
警察庁長官

靈木 康浩



警察機構図

国の警察機構図



国の警察機関

国の警察機関として、内閣総理大臣の所轄下にある国家公安委員会の管理の下に警察庁が置かれ、全国的な視野から治安維持の責務を担っています。

警察庁と都道府県警察の関係

都道府県警察はその管轄区域における一切の第一次的治安責任を任ぜられています。警察庁は、全国的・調整的見地から治安責任を担い、その所掌事務について都道府県警察を指揮、監督、調整しています。

「当たり前な日常を、
その笑顔を守りたい。」

警察庁警察官（スペシャリスト候補）とは

警察庁では、

国家公務員採用一般職試験（大卒程度・全区分）の合格者から、

警察行政の各専門分野において

「治安のスペシャリスト」たる人材を育成するため、

スペシャリスト候補警察官を採用しています。

スペシャリスト候補警察官は、それぞれの専門分野において、

警察庁と都道府県警察の双方で勤務していくことで、

高度な専門性を有する「治安のスペシャリスト」として育成され、

都道府県警察の現場の実情を踏まえて、

地に足の着いた政策を実現していくという明確なミッションが

付与されています。

生活安全局

Community Safety Bureau

生活安全企画課

犯罪の起きにくい社会へ

地域住民の安全安心を脅かす犯罪の抑止対策、犯罪被害に遭いにくい安全安心なまちづくりの推進、警備業・古物営業等の適正化等、市民生活の安全と平穩の確保、犯罪の予防に関する事務や交番・駐在所を拠点とした地域警察官の活動等に関する事務を行っています。

人身安全・少年課

人々の命と子どもたちの未来を守るために

人身の安全を早急に確保する必要のあるストーカー、DV、児童虐待等への対策に関する事務や、少年の非行や犯罪被害の厳しい情勢を踏まえた、少年事件の捜査体制の充実・強化等の少年非行防止対策、児童ポルノの製造等の子供の性被害に係る対策に関する事務等を行っています。

保安課

良好な生活環境の保持のために

風俗営業の適正化、銃砲等及び刀剣類・危険物の規制等の行政事務に加え、売春・人身取引関係事犯や賭博等の風俗関係事犯の取締り等に関する事務を行っています。

生活経済対策管理官

日常生活を脅かす犯罪から国民を救う

生活経済事犯（利殖勧誘事犯等の悪質商法、ヤミ金融事犯、食の安全に係る事犯、保健衛生事犯、環境事犯、知的財産権侵害事犯等）の取締り等に関する事務を行っています。

国民が平穩に暮らすことができるように

保安課課長補佐

PROFILE

平成13年	入庁
平成27年	警察庁生活安全企画課付
平成28年	復興庁統括官付参事官付参事官補佐
平成30年	警察庁生活安全企画課付
平成31年	警察庁保安課課長補佐
令和2年	神奈川県警察本部少年育成課長
令和3年	警察庁国家公安委員会事務官付補佐官
令和5年	警察庁保安課課長補佐

生活安全局とは

私たちの平穩な暮らし。それを支えるものは様々あるでしょうが、その一つに良好な治安は欠かせないでしょう。

生活安全局では、犯罪抑止、交番を拠点としたパトロール、少年の非行防止、風俗環境の保持、悪質商法の取締り等を通じて、国民が犯罪や事故等に怯えずに平穩に暮らすことができるようにするため、日々奮闘しています。

変化する治安上の課題への対応

今から20年ほど前、我が国の刑法犯認知件数は戦後最多を記録するなど、治安情勢が危険水域に達し、国民が強い不安感を抱く状況にありました。こうした状況を受け、警察庁では、生活安全局を中心に街頭犯罪・侵入犯罪に重点を置いて官民一体となった犯罪対策等を推進した結果、治安情勢に一定の改善がみられるようになりました。

そして近年、ストーカー、DV、児童虐待事案といった主として個人の私的な関係性や私的領域の中

で生じる事案への対応が課題となっており、こうした事案への対応も生活安全局を中心に行っています。

これまでの勤務を通じて

私は、これまで、都道府県警察の警察署ではストーカー事案の捜査を行い、警察庁ではその経験も生かしながら全国警察がストーカー事案等に対処するための体制づくりに携わり、さらに、都道府県警察の警察本部では実際に構築された体制の中で事案対処を指揮するといった機会にも恵まれました。施策は現場で機能して初めて意味を持ちます。机上の空論ではない、地に足の着いた施策を考えることができる存在。それが一般職採用警察官です。



生活経済対策管理官付係長（平成26年入庁）

VOICE

①現在の仕事の内容について

生活経済対策管理官の企画係で、庁内所属や関係省庁との連絡窓口となって調整する業務等を担当しています。

②なぜ生活安全分野を希望したのか

様々な治安事象に対応するので、業務の中で日々新しい刺激を受けられそうだと感じて希望しました。

③生活安全分野にはどんな人が多い？

どんな雰囲気？

取り扱う課題が多様多岐であるため、柔軟な思考と広い視野を持つ人が多いと感じています。

④やりがいを感じた瞬間は？

関係国との会議で、日本警察の環境事犯に対する取組を説明するミッションに携わった時です。

⑤将来、どんなスペシャリストになりたい？

勤務で培った専門知識や経験を生かしつつ、与えられたポストで成果を出せるスペシャリストを目指します。

⑥学生さんへ一言エールを！

日本の治安と真剣に向き合う仕事、おすすめです！雰囲気を知るためにも、ぜひ説明会等にお越しください！

刑事局

Criminal Affairs Bureau

刑事企画課

全国の刑事の中核、頭脳であり心臓

全国の刑事警察の司令塔として、刑事手続のIT化をはじめとする刑事警察に関する制度やその運営に関する企画及び立案、都道府県警察の捜査活動に対する指導、捜査手法や刑事関係法令に関する調査研究等、広く捜査一般に関することを担当しています。

捜査第一課

凶悪事件と対峙する、全ては被害者のために

社会に大きな不安を与える殺人、強盗等や被害者の心身に大きな傷を与える性犯罪といった凶悪事件、侵入盗をはじめとする窃盗事件のほか、略取誘拐・人質立てこもり事件や航空機・列車事故といった特殊事件等の捜査に関する業務を担当しています。

捜査第二課

政治・行政・企業の不正を糾す

政治や行政に対する国民の信頼を揺るがし、あるいは我が国の経済・市場システムを内部から蝕む、贈収賄事件や選挙違反事件、入札妨害・談合事件、企業関係犯罪といった各種知能犯罪の捜査に関する業務を担当しています。

組織犯罪対策部

組織犯罪対策第一課

戦略的な組織犯罪対策の展開

犯罪組織の壊滅・弱体化を図るため、暴力団、薬物密輸組織、外国人犯罪組織等に関する情報の集約・分析を行い、戦略的な組織犯罪対策の企画・立案等の業務を行っています。また、マネー・ロータリング対策等を担う我が国の資金情報機関 (FIU) として、疑わしい取引の情報を集約・分析し、結果を捜査機関に提供するなどしています。

組織犯罪対策第二課

暴力団の壊滅と薬物・銃器のない社会を目指して

我が国の社会経済を蝕み、市民生活の平穏に対する重大な脅威となっている暴力団の壊滅に向け、暴力団犯罪・特殊詐欺をはじめとする組織犯罪の取締りに関する業務を行っています。また、犯罪組織が深く関与している覚醒剤・麻薬等の薬物及び拳銃等の銃器に関する犯罪の取締りに関する業務を担当するほか、薬物乱用防止や違法銃器根絶のための広報啓発活動等の各種施策を総合的に推進しています。

国際捜査管理官

国際犯罪の防波堤

来日外国人組織犯罪や国境を越えて活動する国際犯罪組織に対する総合的な対策を推進するとともに、国際刑事警察機構 (ICPO-INTERPOL) や外国捜査機関との連携、国外逃亡被疑者の追跡捜査等に関する事務を担当しています。

捜査支援分析管理官

社会の変化に適応した捜査を

部門の垣根を越えた犯罪関連情報を収集・分析し、広域犯罪等の全体像の解明、各都道府県警察に対する情報提供等を行っているほか、新たな制度・サービスが犯罪インフラとして悪用されることの防止・解消に取り組むなど、社会の変化に対応した犯罪捜査の支援及び犯罪の情勢、手口等の総合的な分析、調査等に関する業務を担当しています。

犯罪鑑識官

科学捜査で姿の见えない悪を追い詰める

法医学、化学、心理学等の知識及び技術を応用し、指掌紋、足痕跡、現場遺留物、写真、DNA型等から捜査を科学的、合理的に進めるなど、犯罪鑑識全般に関する業務を担当しています。

社会情勢の変化に適応した 刑事警察の実現

組織犯罪対策第二課 課長補佐

PROFILE

平成18年	入庁
令和2年	警察庁捜査第二課付 鹿児島県警察本部捜査第二課長
令和4年	警察庁暴力団対策課付
令和5年	警察庁組織犯罪対策第二課課長 補佐

刑事警察とは

「ニュースです。今日未明…」、この先に続くニュースに何を思い浮かべたでしょうか。日々、明るいニュースだけではなく、心が痛む事件を見聞きすることも多いと思います。刑事警察は、こうした心の痛む殺人、強盗等の凶悪事件のほか、特殊詐欺事件、窃盗事件、知能犯事件等の捜査を担当しています。

近年、社会情勢の変化が激しく、技術の発展等に伴う新たな制度やサービスが犯罪者に悪用されている状況も見受けられます。警察庁刑事局では、こうした社会情勢を確実にキャッチアップした上で、捜査が適正かつ効果的に行われるよう、施策の企画・立案、体制の整備のほか、都道府県警察に対する指導・調整等を行っています。

特殊詐欺被害をゼロに

特殊詐欺は、依然として高齢者を中心とした被害が深刻な情勢にあります。犯罪グループは、犯行の役割を細分化させ、連絡手段には秘匿性の高い通信手段を用いるなど、手口を一層巧妙化させています。

こうした特殊詐欺の情勢や、SNSで実行犯を募る強盗等事件が広域で発生したことを受け、政府の犯罪対策閣僚会議において緊急対策プランが決定されました。私はこのプランの策定作業に携わりましたが、第一線での実務経験等を踏まえ、真に必要な対策をプランに盛り込むことができました。現在は、各省庁、民間事業者等の協力を得ながら各種施策を推進し、特殊詐欺被害をゼロにするために日々業務に取り組んでいます。

専門分野で唯一無二の存在に

警察庁では、時に難しい仕事に直面することもあります。しかし、一般職採用警察官には、各専門分野においてスペシャリストを育成するためのキャリアステップが確立されており、各ステージで都道府県警察と警察庁相互の勤務を経験して必要な能力を身に付けることができます。また、自ら立案した施策に第一線の勤務で触れ、その実効性等を検証することで、専門分野を極めていくことができます。

警察庁であなたにしかできない仕事をしてみませんか。

VOICE

刑事企画課係長 (平成22年入庁)

①現在の仕事の内容について

捜査書類の電子データ化や令状請求のオンライン化等の刑事手続のIT化に向けた検討に取り組んでいます。

②なぜ刑事分野を希望したのか

日夜捜査をしている現場の一助となる施策を考え、国民の安全安心の確保を図っていきたく考えたからです。

③刑事分野にはどんな人が多い?

どんな雰囲気?

「犯人を逃がさない、許さない」という熱い信念を持った人が多いですが、職場は明るく風通しの良い雰囲気です。

④やりがいを感じた瞬間は?

自ら携わった施策が第一線の捜査員に浸透し、それが被害者の負担軽減に繋がっているという声を聞いたとき。

⑤将来、どんなスペシャリストになりたい?

時代とともに変化する犯罪に対応し、一人でも多くの犯人を検挙できる刑事警察を追求し続けていきたいです。

⑥学生さんへ一言エールを!

全国の警察官とともに、「平穏な日常を守る」という普遍的な目的のために警察庁で仕事をしてみませんか。

交通局

Traffic Bureau

交通企画課

人とクルマが調和した交通社会の制度設計

交通警察に関する制度の企画及び立案、交通統計、交通安全教育及び交通安全運動等に係る事務を所掌しています。また、道路交通法令の改正作業や各種計画の策定作業、自動運転に関する制度の企画立案等を行っています。

交通指導課

取締りは、事故のない未来への挑戦

道路交通の秩序維持のため、交通指導取締り、交通事故事件捜査、暴走族対策に係る企画立案等のほか、白バイ・交通パトカーの運用に係る事務を行っています。また、放置違反金制度と放置車両確認事務の民間委託を柱とする駐車対策法制の運用にも取り組んでいます。

交通規制課

1億3千万の流れをコントロールする責任

信号制御や標識設置等によって交通流をコントロールし、安全かつ円滑な道路交通を支えています。また、大規模災害発生時は、速やかな災害対策が実施できるよう、緊急輸送ルートを確認する重責を担います。

運転免許課

全ドライバーの資質を背負うゲートキーパー

運転免許を取得しようとする者への教習・試験、運転免許保有者等への講習等の充実により安全運転を促進し、運転免許の取消し等により危険運転者を排除することで、運転者の資質向上を図っています。また、更新時講習のオンライン化等、運転免許関係手続のデジタル化にも取り組んでいます。

VOICE

交通規制課係長（平成28年入庁）

①現在の仕事の内容について

交通規制関係の法令改正に係る検討のほか、都道府県警察や他省庁からの質疑・協議対応等を行っています。

②なぜ交通分野を希望したのか

多くの命が交通事故で失われる中、悲惨な交通事故を根絶し、人々の安全・安心を守りたいと思ったからです。

③交通分野にはどんな人が多い？

どんな雰囲気？

上司・同僚問わず気軽に話すことのできる気さくな人が多く、非常にアットホームな雰囲気です。

④やりがいを感じた瞬間は？

地道に検討を重ねてきた法令改正が成立し、新たな制度として報道された時の達成感はひとしおでした。

⑤将来、どんなスペシャリストになりたい？

日進月歩で移り変わる交通情勢にも敏感に反応して対応できる、柔軟なスペシャリストになることが目標です。

⑥学生さんへ一言エールを！

「国民の安全・安心のために働きたい」という志を持った方と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

安全で快適な道路交通社会の実現を目指して

交通企画課課長補佐

PROFILE

平成18年	入庁
令和2年	警察庁交通企画課付
令和3年	静岡県警察本部交通規制課長
令和5年	警察庁交通企画課課長補佐

多様な交通主体が共存できる社会の実現

令和4年中の交通事故死者数は2,610人であり、6年連続で戦後最少を更新しました。しかしながら、我が国は欧米諸国と比較して死者数に占める歩行者死者の割合が高いほか、幼い子供の命が奪われる悲惨な事故が依然として発生しています。

警察庁では、都道府県警察や関係機関と連携しながら、信号機等の交通安全施設等の整備、効果的な交通安全教育、悪質・危険な交通違反の指導取締りや交通事故事件捜査等を総合的に推進しています。

また、自動車、自転車、歩行者等をはじめとする多様な交通主体が、どうすれば安全・安心に共存できる社会を実現できるかという観点から、必要な法令改正や制度設計を行うのも警察庁の大きな役割です。

一般職採用警察官の魅力

法令改正や制度設計のベースとなるのは、第一線の現状や問題点、国民のニーズ等であることが多く、それらを体感する機会が多く設けられているのが一

般職採用警察官の特徴です。問題点等を踏まえて制度を設計し、その運用を通じてより良いものに改善して次につなげるというのは、まさに一般職採用警察官に求められる使命であり、やりがいを感じる瞬間でもあります。

先進技術の進展に伴う自動運転社会の実現、電動キックボードに代表される新たなモビリティの登場、ライフスタイルの変化に伴う移動手段の変化等、道路交通を取り巻く情勢が変化中、交通警察もそれに対応しなくてはなりません。「交通事故による不幸を生み出さない」という根底にある信念はいつの時代も変わってはいけなく考えています。自分なりの信念をもった皆さんとともに働ける日を楽しみにしています。



警備局

Security Bureau

警備企画課

国家の秩序を護る

警備警察に関する制度や運営に関する企画立案、警備警察に関する法令の調査及び研究のほか、急速に発展する先端技術を用いて行われるテロや犯罪等に関する情報収集及び取締り等を担っています。

外事情報部

外事課

Nipponを護る

警備警察が扱う事象のうち、主として外国人が関与するものを扱っており、例えば、北朝鮮による日本人拉致容疑事案、北朝鮮等による対日有害活動、大量破壊兵器関連物資等の不正輸出、諸外国によるスパイ活動、先端技術流出等に関する情報収集や取締り、不法入国・不法滞在者対策等を行っています。

警備運用部

警備第一課

警備部隊の司令塔

警備実施、機動隊の全国的な運用・管理、G7サミットや万博等の大規模イベントにおける警戒警備に関する業務を行っています。

警備第二課

警衛・警護の要

皇室の方々や内閣総理大臣をはじめとする内外要人の安全を守る警衛・警護等に関して、全国警察の指導や計画の審査等の業務を行っています。

警備第三課

危機管理の中核

大規模な災害、重大テロ事案等の緊急事態発生時の警察庁における対処の中核を担うほか、原子力関連施設の警戒警備、核物質や特定病原体等の防護対策等に関する業務を行っています。

公安課

民主主義を支える

民主主義社会を暴力で転覆しようとする過激派、極端な国家主義的主張に基づいて行動する右翼、依然として多くの信者を抱えるオウム真理教等に対する情報収集や「テロ、ゲリラ」事件等の警備犯罪の取締り等を行っています。

国際テロリズム対策課

テロの脅威と闘う

警備警察が扱う事象のうち、外国人又はその活動の本拠が外国にある日本人によるテロ等に関するものを扱っており、イスラム過激派等による国際テロに関する情報収集・分析や国際会議への対応を行っています。

何気ない日常を守る

公安課付

PROFILE

平成19年	入庁
令和元年	在オランダ日本国大使館
令和4年	警察庁公安課付

我が国を取り巻く様々な脅威

今、私たちの国を取り巻くこの状況が皆さんの目にはどのように映っているでしょうか。依然として厳しい国際テロ情勢に加え、過激派、右翼等による「テロ、ゲリラ」等の違法行為の脅威や我が国を標的としたサイバー攻撃、対日有害活動の脅威がみられる中で、最近では、いわゆるローン・オフエンダーによる違法行為への懸念、経済安全保障上の脅威など、新たな脅威も出現しており、私たちの国を取り巻く状況は厳しいものといえます。

また、こうした脅威だけではなく、地震や大雨等の災害による被害が全国各地でみられる中、こうした大規模災害やその他緊急事態への備えが、引き続き重要となっています。

警備警察とは

警備警察とは、こうした様々な脅威に対して、全国警察が一体となり、必要な情報収集や分析を行うとともに、これに基づいた必要な諸対策を実施することで、その脅威が現実のものとなることのないよ

う未然防止を図るほか、法執行機関として、犯罪の取締りといった措置を講じていくことを重要な任務の一つとしています。

加えて、大規模災害等緊急事態が発生した場合には、これに迅速・的確に対処し、その被害の最小化を図ることも重要な任務です。

警備警察に求められる使命

警備警察の重要性は日に日に増しているといえます。私たちを取り巻く脅威は、時代の変化に応じて変わっていき、警備警察はこれに的確に対処していくことが求められます。こうした脅威に対峙していくことは、決して簡単なことではありませんが、私たちは、その先にある目的を見据えてこれからも対峙していかなくてはなりません。

この国で暮らす全ての人々が、当たり前のように「何気ない日常」を過ごすことができる。そのような「何気ない日常」を守るからこそ、私たち警備警察の使命なのだと感じています。こうした使命を、皆さんとともに分かち合い、果たしていける日が来ることを楽しみにしています。

VOICE

警備第三課係長（平成28年入庁）

①現在の仕事の内容について

緊急事態に対処するための警察措置やその実施に係る立案、検討、関連省庁等との連絡調整を行っています。

②なぜ警備分野を希望したのか

国の治安維持の担い手として、公共の安全と秩序を維持するという崇高な任務に携わりたかったからです。

③警備分野にはどんな人が多い？

どんな雰囲気？

仕事ぶりはクールですが、熱い想いを持った人が多く、困難に丸となって対応する活気のある職場です。

④やりがいを感じた瞬間は？

事案の発生に際し、課員一丸となり、現場で戦う全ての人のために尽力し、被害の拡大を防げたときです。

⑤将来、どんなスペシャリストになりたい？

危機管理やインテリジェンス等、警備の各分野に精通し、広い視野と柔軟な思考を持った職員になりたいです。

⑥学生さんへ一言エールを！

警備のスペシャリストとして皆さんと一緒に国の治安維持に尽力できる日を楽しみにしています。

サイバー警察局

Cyber Affairs Bureau

サイバー企画課

サイバー事案対策のオペレーター

サイバー警察に関する制度や運営に関する企画・立案及び法令の調査・研究のほか、官民連携等を通じたサイバー事案の被害防止対策、サイバー空間の情勢に関する情報収集・分析、サイバー警察に関する国際的な枠組みへの参画等に関する事務を行っています。

サイバー捜査課

捜査を通じたサイバー空間の安全確保

サイバー事案の捜査に関する企画・立案、サイバー事案の情勢及び手口の分析のほか、外国捜査機関との連携、都道府県警察が行うサイバー事案の捜査に関する指導・調整等を行っています。

情報技術解析課

技術のスペシャリスト

捜査で押収した証拠品の解析など、情報技術を用いて、警察が行う犯罪の取締りを支えています。また、こうした技術を生かし、サイバー事案に用いられる不正プログラムの解析、サイバー空間の脅威や脆弱性の調査・分析のほか、解析能力向上のための取組を行っています。



「自由、公正かつ安全なサイバー空間」の創出

サイバー企画課 課長補佐

PROFILE

平成15年	入庁
平成31年	警察庁少年課付
令和3年	宮城県警察本部捜査第二課長
令和4年	警察庁刑事企画課課長補佐
令和5年	警察庁サイバー企画課課長補佐

「誰もが安全で安心して暮らせる社会の実現」

サイバー空間の進展は、人々や社会に様々な恩恵をもたらす一方、日常生活や経済活動におけるインターネットやデジタル技術への依存が高まるに伴い、サイバー攻撃やサイバー犯罪の発生が私たちに与える影響は、広範囲に及び、かつ深刻なものとなります。誰もが安全で安心して暮らせる社会の実現には、身近な生活空間における良好な治安の確保のみならず、安全なサイバー空間の創出が不可欠となっています。

機関との国際共同捜査への積極的な参画、幅広い捜査ニーズを捉えた情報技術解析の実施、関係省庁や民間事業者・団体と連携した広報啓発活動等により、警察組織の総合力を発揮した各種施策を推進していくことが必要とされています。

治安のスペシャリストとして

警察庁では、行政官としての施策の企画・立案のみならず、現場における実際の運用を想定した各種施策の実施方法の検討や、実施に向けた都道府県警察に対する指導を適切に行うことが求められます。

サイバー警察局では、新たな課題に対して立ち向かうために必要な柔軟な思考と、警察庁と第一線での勤務を通じて培った知識・経験を余すところなく活用することが求められ、治安のスペシャリストとして、社会に貢献できる喜びを感じながら、日々勤務することができます。

新たな時代におけるサイバー警察局の使命

こうした新たな時代を迎える中、人々の警察への期待は大きく、警察庁サイバー警察局の役割は重要性を増しています。

悪質・巧妙化の一途をたどるサイバー事案に対する警察の対処能力の向上、的確な実態把握による被害防止対策、サイバー犯罪の捜査の推進、外国捜査

VOICE

サイバー捜査課係長（平成23年入庁）

①現在の仕事の内容について

サイバー事案の取締りに関する国際捜査共助や国際会議の主催、治安機関等との協議を行っています。

②サイバー分野にはどんな人が多い？

どんな雰囲気？

技官やサイバー特別捜査官等、様々なバックグラウンドを持った方がいます。とてもフラットな雰囲気です。

③サイバー分野は理系じゃないと難しい？

そんなことはありません。技術用語を多用する分野ですが、自分で調べたり、詳しい同僚に聞いたりしながらキャッチアップしています。

④やりがいを感じた瞬間は？

難航していた捜査が、関係国との交渉の結果、国際共同捜査の実施につながった際に、大きな達成感を感じました。

⑤将来、どんなスペシャリストになりたい？

「日本のサイバー事案の国際捜査といえば、彼女」と世界で一目置かれるスペシャリストになりたいです！

⑥学生さんへ一言エールを！

警察庁には、女性でも、子育て中でも、日本で、世界で活躍できる環境があります。警察庁でお待ちしています。

キャリアステップ



CAREER STORY

No. 01

不正のない社会を目指して

PROFILE

新潟県警察本部捜査第二課長(警視)
平成19年 入庁
専門分野：刑事

CAREER STEP

平成20年

平成20年

警視庁四谷警察署 (巡査部長)

連続強盗事件の被疑者を検挙し、約2か月間にわたり捜査をした結果、無事起訴となりました。当時苦楽をともにした上司・同僚とは、今でも定期的に連絡を取って集まっています。



平成25年

平成25年

兵庫県警察本部捜査第一課 (警部補)

連続殺人事件の捜査本部で、保険金殺人や傷害致死事件の捜査に従事した経験や、行方不明の被害者を発見するため、十数年前に殺害・遺棄された可能性のある沼を重機で掘り起こし、泥まみれで探した経験は、現場捜査員の事件解決に対する強い執念を感じるものでした。



令和2年

令和2年

警察庁刑事企画課 (警部)

刑事手続のIT化の検討に当たり、現場の実査・ヒアリング等をしたところ、体制・予算・装備資機材の違いだけでなく、気候・風土等の捜査を取り巻く環境によっても、現場の捜査実務や運用が大きく異なることを知りました。

県警本部の指揮官として

新潟県警察本部捜査第二課では、詐欺・横領等の県民の身近で発生する犯罪のほか、贈収賄、公職選挙法違反、企業犯罪等の政治・行政・経済を蝕む犯罪と対峙しています。これらのうち、贈収賄や買収といった議員や首長、公務員による汚職事件は、国民の公務に対する信頼を裏切り、社会の秩序や民主主義の根幹を揺るがす犯罪である一方、一般的に潜在化する傾向が強く、被害が表面化しにくいものとなります。そのため、如何にして端緒情報を入手して不正をあぶり出すかが重要となる上、その捜査に当たっては、外部に捜査情報が漏れないよう細心の注意を払いつつ、公判での事実立証に耐え得る証拠を一つ一つ積み重ねていく必要があります。私は、県警本部の指揮官として、日々捜査員と膝を突き合わせて捜査方針等の検討を重ね、時には

検察官とも協議し、事件検挙を目指しています。

現在の勤務の基礎を築いた警部時代

私はこれまで、警察庁では、汚職事件の捜査指導のほか、知能犯罪の情勢分析、公職選挙法等の法令の解釈・運用に関する質疑対応等に従事するとともに、警察署では、日夜発生する知能犯罪や被害者からの相談事案について、署の捜査幹部として部下職員とともに対応してきました。これらの勤務で得た知識・経験は、現在の勤務において、県警本部の指揮官として捜査方針を決める上でも、知能犯罪部門のトップとして県内各署に対して指導する上でも、大いに役立つものとなっています。

一般職採用警察官の醍醐味

一般職採用警察官は、自らの専門分野において現場実務に従事する機会が多く設けられ、そこで得た知識・経験を警察庁やその後の勤務に生かして施策の企画立案、組織運営を行うことができるという醍醐味があります。皆さんと一緒に治安を守っていくことができる日を楽しみにしています。



都道府県警察の幹部として



PROFILE

広島県警察本部警備部長(警視正)
平成9年 入庁
専門分野：警備

CAREER STEP



平成19年
警視庁第九機動隊中隊長(警部)

それまで警備計画策定には携わってきましたが、計画を現場で実行する初めての部隊勤務。計画は、現場の部隊員の鋭敏な感覚や柔軟性、チームワーク、訓練の積み重ねにより、初めて魂が宿ることを肌で実感しました。お互いにカバーし合う機動隊の濃密な人間関係に何度も救われ、当時の仲間とは今でも交流しています。



平成23年
在米国日本国大使館(警視)

警備警察の業務に携わるうちに、海外ではどうなっているのか？これからの業務に生かせることはないのか？と興味が湧き、海外勤務を希望しました。配属された米国で重要行事の警備等に直に触れる機会を得て知見を広げられ、また、海外で業務をすることで胆力も磨けたように思います。

平成30年
警察庁警備課課長補佐(警視)

実務スタッフを率いる立場で、G20大阪サミット、即位の礼、東京オリンピック・パラリンピックの警備を担当。現場で警備に当たる都道府県警察との連携や外務省との協力関係構築、海外要人来日に伴う外国警備機関との協議等、地方・国・外国の各機関が相手となる、入庁以来の勤務の一つの集大成となるような勤務でした。

令和5年5月に開催されたG7広島サミットに、管轄県警察本部の警備責任者として携わる機会を得ました。

警察によるサミット警備の目的は、参加する首脳的安全と諸行事の円滑の確保、そして県民・市民の穏やかな生活を守ることにあります。

今次サミットは、住民が多い広島において、米国をはじめとする首脳が長時間滞在して行われ、かつ、首脳等の宿泊場所や行先地が広範囲に点在したため、その警備は大変難しいもの



のとなりました。加えて、サミット開催中にウクライナのゼレンスキー大統領の参加が発表されたことにより、警備の困難度は一層高いものとなりました。

このような大規模警備を完遂するためには、県警察全体が一致団結して個々の総和以上の力を発揮しなければなりません。そして、あらゆる事態を想定した細心熟慮の警備計画の策定、積み重ねの訓練による部隊練度の向上、警察庁や全国警察との緊密な連携、自治体等の関係機関との強固な協力、県民・市民の理解を得るための丁寧な広報が必須となります。

こうした中で警備部長は、トップである本部長を的確に補佐するため、県警察の警備部門全体を上記のように方向付け、また、日々発生する難題の解決

策をスタッフとともに真剣に考え、その解決策を着実に推進するようスタッフや部隊を指導する責任を負っています。複雑な案件では自らが関係者の説得等に当たることもあります。これまで経験したことのないような新たな脅威にも、チームとして臆せずチャレンジしていく必要があります。

警察庁警察官は、異動のたびにまるで転職したかと思まがうほど業務の幅が広いですが、今回の勤務はこうした系統的な人材育成システムで培うことができた知識・経験や人脈をフル活用するエキサイティングな日々となりました。

自分が大学生の時、オウム真理教による地下鉄サリン事件が発生しました。治安への不安が大きくな

る中で将来の職業について考えましたが、市井の人々の平穏な日々を守るとは人生を懸けるに値すると思っ警察庁を志望しました。

G7広島サミットの警備は無事終了しましたが、県民・市民生活の安全・安心等を守る業務に従事してきて、その選択が誤りでなかったことを実感しています。

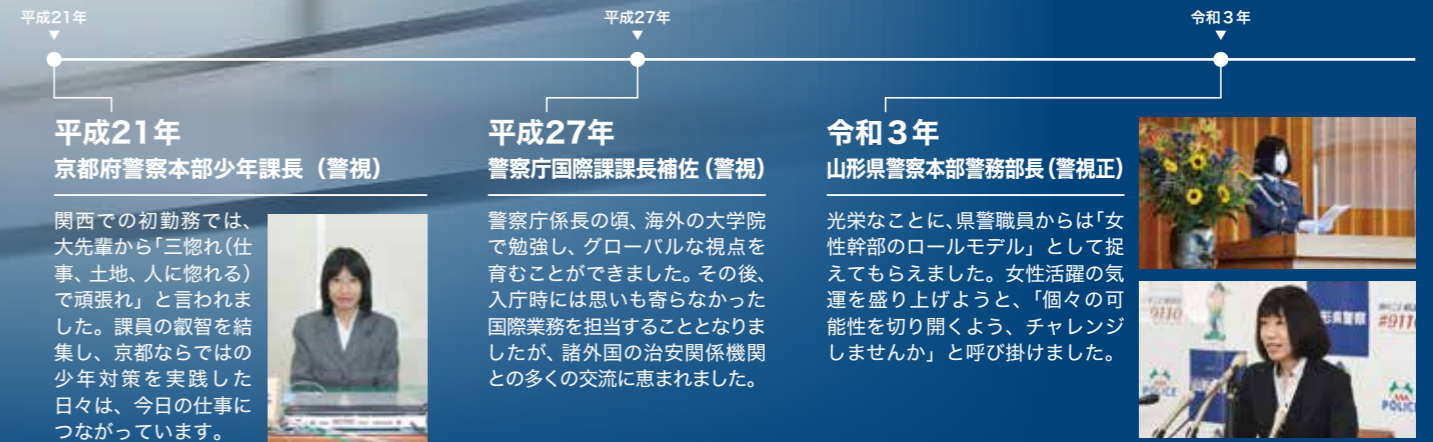
警察の新時代を歩む



PROFILE

生活安全局人身安全・少年課理事官(警視正)
平成6年 入庁
専門分野：生活安全

CAREER STEP



変わりゆく治安事象

2019年、平成から令和へと新時代が幕開けし、G20大阪サミットがいよいよ本番を迎えるという時期に、上司から「Look more, Find more」と鼓舞されました。これは、国際テロが発生して莫大な被害が発生すれば取り返しがつかない。テロ対策の要諦は、その未然防止にある。だからこそ、危険の芽を摘むために、平素から情報収集と法執行を地道に行うことの大切さを説かれたものです。

刻一刻と変容する社会では新しい事象が発生し、警察は新しい治安課題に直面します。とはいえ、国民が警察に求めることは、今もこの先も変わらず、

「いざその時」に的確に任務を遂行することでしょう。

「Look more, Find more」で闘う

時が経って現在、私が所属する人身安全・少年課では、ストーカー、DV、児童虐待等への対策として、現場で起きる個々の事件に即した政策の企画・立案に取り組んでいます。これらの対策では、重大事案に発展する前に被害者を保護することが最優先です。まさしく「Look more, Find more」で危険の芽を摘み、未然防止を図る対策が求められています。

人身安全・少年課の理事官として、このような視

点を持って、所属の職員一人一人が持てる能力を発揮し、業務が的確に推進されるよう、職場環境の整備に努めています。多様性のある職場では、自由な意見を言いやすく、変化に強く新しいアイデアが生まれやすいものです。

警察で共に歩む

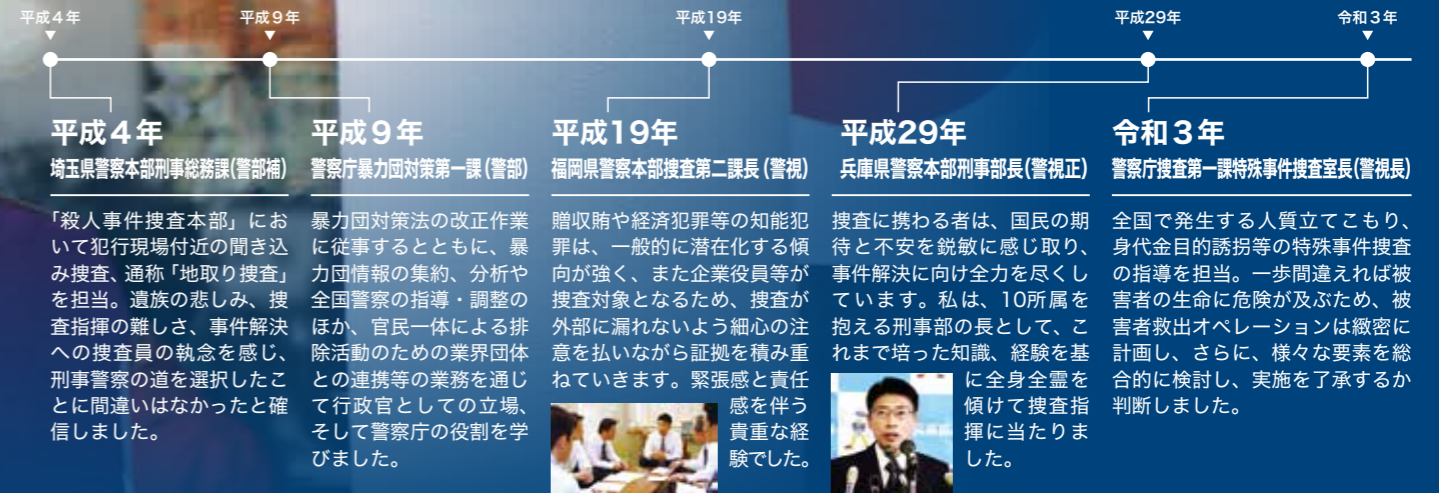
初めて第一線で勤務した時、現場で粘り強く立ち向かう諸先輩方の姿に感動したことが、私の警察人生の原点です。今日に至るまで、時には困難な場面もありましたが、上司や同僚とともに知恵を絞り、できる手段を考えて実践し続けてきました。

これからは、私たち先輩職員が、入庁する皆さんのチャレンジを後押しする番です。皆さんのチャレンジが楽しみです。



治安の最高責任者として

CAREER STEP



PROFILE

HOSODA TADASHI
細田 正

石川県警察本部長(警視長) / 平成元年 入庁
専門分野: 刑事

私は、刑事警察の道を選択し、様々な事件等と向き合いながら警察人生を歩んできました。そして今、石川県警察本部長に任命され、全部門の舵取りを任される立場となりました。

警察本部が所在する金沢市は、加賀百万石の城下町として有名であり、また県内の神社仏閣や風光明媚な景勝地には、多くの観光客が訪れています。

この地を守る最高責任者として警察本部に

到着した時の気概は今でも鮮明に覚えています。

オンライン中継も含め、約2,300人の警察職員の前で「県民の期待と信頼に応える警察であり続ける。」等と初訓示を行い、警察本部長としての業務を開始しました。

警察本部長の業務

警察本部長の業務は、管轄区域における警察の責務(警察法第2条第1項)を果たすための諸活動であり、具体的には、重要事件、重大事故、災害等に対して直接指揮するほか、警察職員の管理監督、知事部局との折衝、県議会での答弁などがあります。

令和5年5月5日発生 of 震度6強を観測した能登地方地震では、全職員が緊急参集し、警察本部長をトップとする「災害警備本部」を設置し、被災状況、安否確認等の活動を行ったほか、G7教育大臣会合警備では、総合指揮室で24時間体制の警備指揮を執りました。

警察本部長は、危機管理を体現した職であり、日々緊張感はあるものの、仕事をやり遂げた時の充実感忘れられないものです。

学生の皆さんへ

高い倫理観と崇高な使命感を有する治安機関は、

警察以外にも存在します。しかし、あらゆる治安事象に関わることができるのは、警察以外にはありません。

30数年前、官庁訪問した際、「警察庁は、現場で国民の要望を肌で感じ、法律や施策の企画立案を行う組織」との説明に共感し、入庁を決意しました。その後、現場で暴力団対策に従事し、平成3年、暴力団対策法の制定作業に携わることができました。

警察庁の魅力、それは現場で汗水流し、その経験が国の施策に繋がることです。



警察庁の幹部として

— 治安確保の仕事を通じた自己実現 —

CAREER STEP

昭和63年

昭和63年

警視庁板橋警察署(巡査部長)

我が警察人生の原点。警視庁板橋警察署の交番において、1年余の間、所管する町のパトロール、各種現場措置等にあたりました。住民に一番近いところで日々の警察事象に向き合う中で、自分が治安の礎を築く一端を担っていることが肌感覚で実感できました。

平成21年

警察庁総務課課長補佐(警視)

翌年に任命された国会連絡室長としての勤務も含めて約3年にわたり、警察関連の法案や予算等に関する国会関係者との連絡・調整を担当。警察に係る政策の実現に向けた業務の一端を担った体験は警察人生における貴重な財産となりました。

平成21年

平成31年

警察庁交通企画課自動運転企画室長(警視正)

我が国における自動運転の実現に向けた警察の取組を推進するため、自動運転企画室長のポストが新設され、私が初代室長となりました。最先端の技術や考えに対する柔軟かつ主体的な対応力が求められたほか、新たな制度設計における議論は交通警察全般に及ぶことから、自身の交通警察関係の知見を総結集する必要がありましたし、国際的な議論に参画するために在外公館勤務等を通じて身に付けた国際感覚や語学力をフル活用することが不可欠でした。



国際会議にて

PROFILE

SUGI TOSHIHIRO

杉 俊弘

交通局交通指導課長(警視長)/昭和63年 入庁
専門分野：交通

交通指導課長の使命

警察の組織について定めている「警察庁組織令」においては、交通指導課は、「道路交通関係法令の規定の違反の取締りに関すること」、「交通事故の処理及び交通事故に係る犯罪の捜査に関すること」等の事務をつかさどることとされています。交通事故は、いつでも、どこでも、誰にでも起こりうるものであり、人の生命さえ奪う。交通事故の抑止のために指導取締りを行うこと、そして、交通事故が発生した場合における原因の究明と責任の追及は極めて重要な使命です。今、私は、交通指導課長として、

そうした使命を果たすべく、職員の先頭に立って日々職務にあたっています。

来し方を振り返って

これまで、交通警察分野に軸足を置きながら、国会関係、国際関係のポストも比較的長く経験する機会を得ました。仕事の幅を広げることで、警察人生の幅が広がり、人間の幅が広がったと自分では思っています。そもそも、警察の活動は、全ての社会・経済活動の基盤となっており、その間口は極めて広いです。自身の持ち味を生かせるフィールドで治安

確保の仕事の一翼を担いつつ、そのことを通じた自己実現を目指すことに大きな価値があると、今になって改めて思い入っています。

警察庁へのいざない

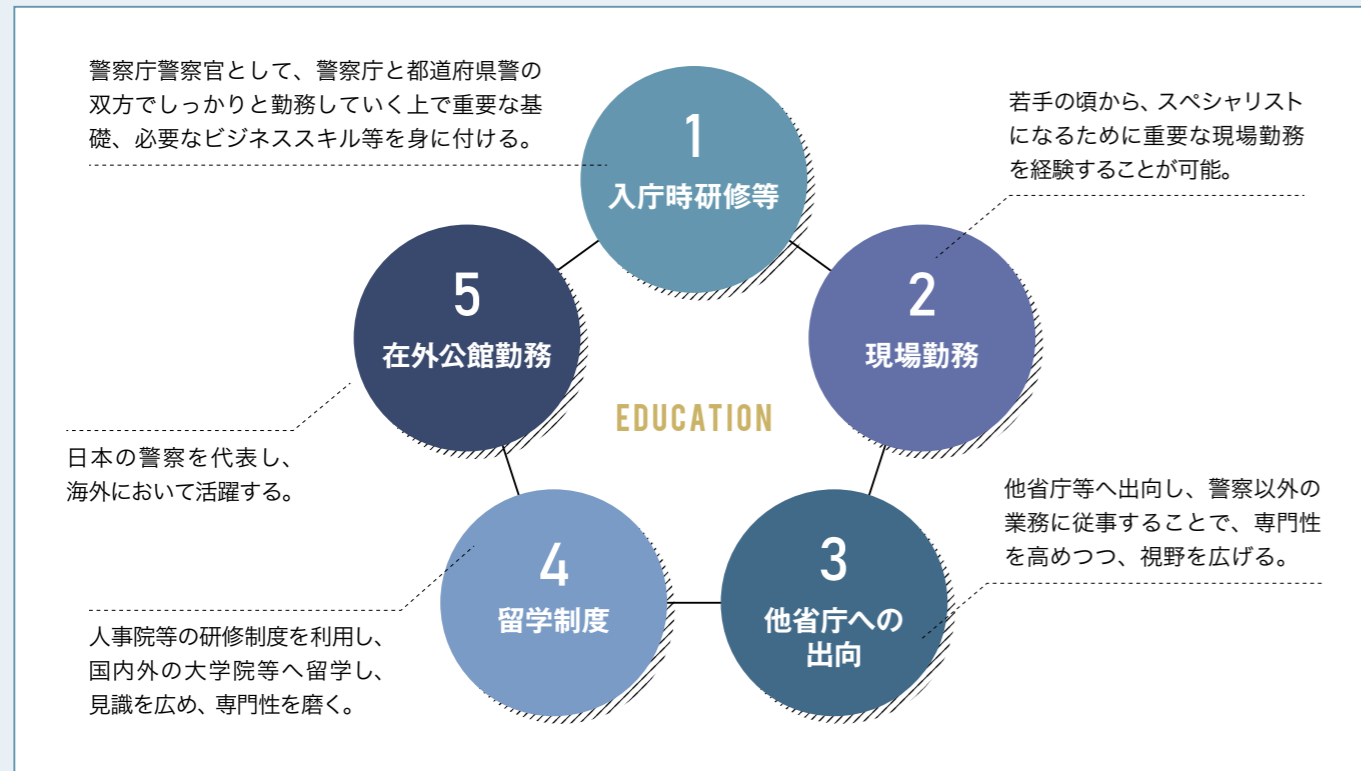
入庁時に抱いていた青臭い正義感や世の中を良くしたいというストレートな思いは、いささかの変容をとげつつも今でも私の警察人生の中で生きています。齢を重ね、己の足らざるを知るに至り、最近では、「一隅を照らす」という言葉を好むようになりました。それは暗がり一人で照らす自己満足

を意味しません。照らされた「一隅」が集まったとき、それは広がりを持った明るさになります。若い力と情熱を持った方々が警察庁の扉をたたかれ、共に治安の礎を照らしてくれることを期待しています。



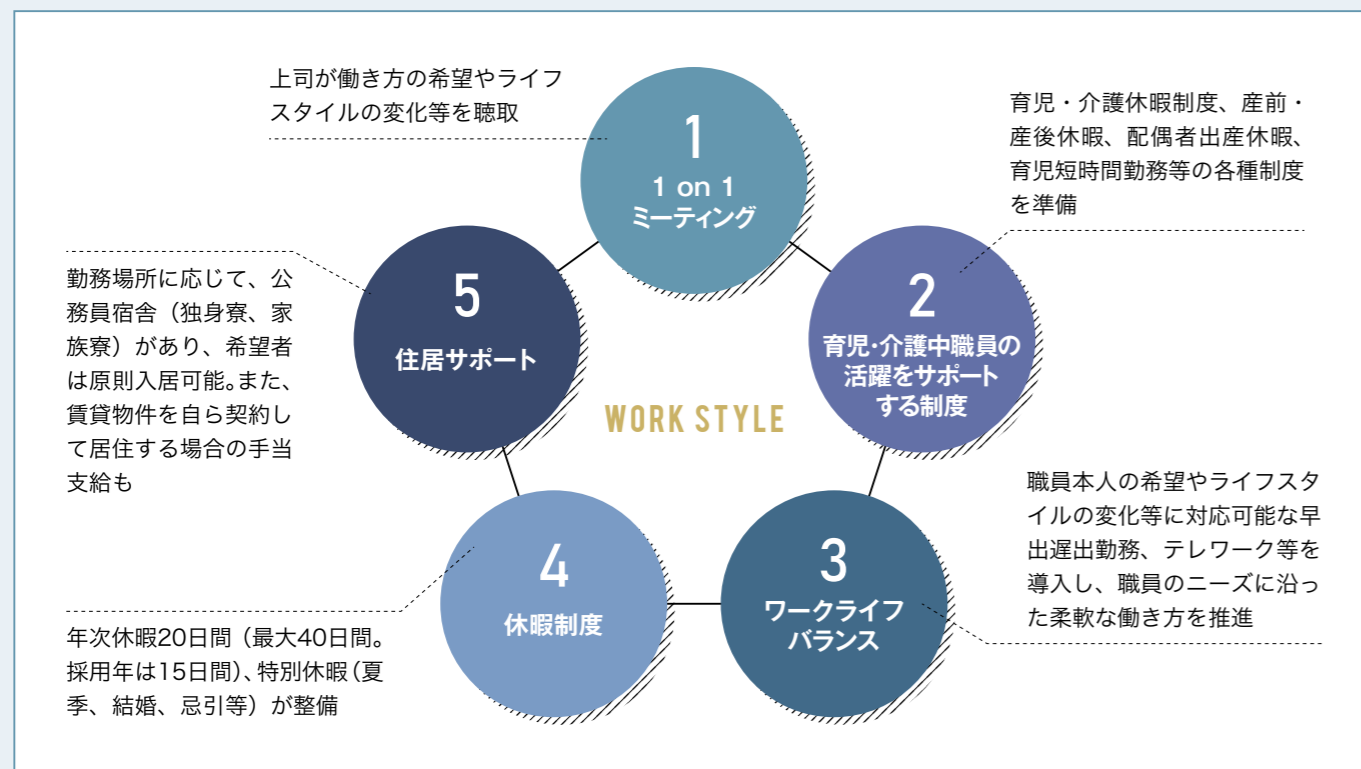
警察庁の人材育成

警察庁には、一人一人を「スペシャリスト」に育成するために必要な環境が整っています。



警察庁の働き方

警察庁には、一人一人が「多様な働き方」をするために必要な環境が整っています。



入庁時研修～警察学校

警察官としての第一歩

警察庁警察官としての第一歩を踏み出すのは、満開の桜並木を抜けた先にある関東管区警察学校（東京都小平市）です。ここで、警察庁警察官として必要な法学、警察実務のほか、拳銃、柔剣道、逮捕術といった授業を受け、警察官として都道府県警察においても、警察庁においても活躍していく土台作りをします。

法学の知識がない方、体力に自信のない方でもご安心ください。学校では基礎から学んでいくカリキュラムや切磋琢磨できる同期がいます。卒業する時には、警察官として大きく成長した自分と出会えるとともに、かけがえのない同期との絆が今後の職業人生を支えてくれるはずです。



R5年入庁者へインタビュー

Q 初めて制服を着た時、どう感じた？

- ・喜びを感じると同時に、国民の期待に応えられるよう立派な警察官になりたいと思いました。
- ・自分が警察庁警察官になったという自覚とともに、それに伴う責任を感じました。

Q どんなスペシャリストになりたい？

- ・「この人に聞けば何でも分かる」と言われるような高度の専門性と得意分野を身に付けた職員になりたいです。
- ・特定の分野に精通しつつも、多角的なアプローチができるスペシャリストを目指したいです。

警察学校での1日

起床・朝食	1時限目	2時限目	昼食	3時限目	4時限目	5時限目	課外・自主トレ	夕食・入浴	自習・消灯
	9:00～	10:30～		12:50～	14:20～	15:50～			
	点検・教練(※)	法学 (警察法等)		柔剣道	警察実務 (書類作成等)	拳銃訓練			

※警察官として職務遂行に必要な姿勢や態度、服装等进行检查し、厳正な規律を養うとともに、部隊行動の訓練を行います。

警察署刑事課の主任として

すべては被害者のために

警視庁立川警察署巡査部長／令和3年 入庁

私は現在、警視庁立川警察署の刑事課強行犯捜査係の主任として、傷害、器物損壊、性犯罪等の捜査に携わっています。強行犯捜査係の扱う事案は多岐にわたり、刑法等への深い理解はもちろんのこと、被害者のために事件を解決に導くという強い思いが重要です。

ある日、公園で遊んでいた小学生を被害者とする傷害事案が発生しました。当時その場に両親はおらず、子供は怪我をしたまま、泣きながら帰宅したのです。

捜査開始当初に判明していたことは、被害者と目撃者からの「犯人は背が高い」というわずかな身体特徴の証言のみで、公園内には防犯カメラもありませんでした。しかし、被害者のために、何としてでも被疑者を逮捕するという強い信念の下、係員一丸となって複数の市町村内の公園や施設において聞き込み捜査を行い、その後も捜査を進めた結果、ついに被疑者の逮捕に至りました。この時の達成感と、被害者からの感謝の言葉は今も忘れることができません。

こうした第一線での現場捜査の経験と、「誰かのために」という強い思いは、今後の警察庁での施策の企画・立案における大きな原動力になると感じています。

皆さんも「国民の安心と安全を守る」治安のスペシャリストを目指してみませんか。

都道府県警察の係長として

専門分野の最前線

埼玉県川口警察署警部補／平成30年 入庁

私は埼玉県川口警察署の生活安全課で、売春等の風俗関係事犯や知的財産侵害事犯等の生活経済事犯の取締り等を担当する係長として、事件を解決するべく、日々係員と一丸となって捜査に従事しています。

生活安全警察は、市民生活の安全と平穏の確保を任務としており、私の係が所掌する業務は、ストーカー、DV、児童虐待等の人身安全関連事案の対策や繁華街における悪質な客引き行為、偽物のブランド商品を販売する行為等の取締り等と多岐にわたります。

私は現在、違法な訪問販売を行っている業者に対する特定商取引法違反事件の捜査に従事しています。こうした生活経済事犯は、地域住民の生活に密着した犯罪であり、その被害は地域住民の不安に直結する一方で、広域性があり犯行手口も複雑な場合が多いです。

私も係員とともに、被害相談の背後に潜んだ事件情報を分析し、事件の解決を目指すだけでなく、不正に利用された犯行ツール対策等、被害の拡大を防止するために何ができるのか日々検討しています。こうした経験こそ、現場で真に必要な施策を警察庁において企画・立案する際に生きるものだと思います。

私たち一般職採用警察官は、都道府県警察での勤務機会に恵まれており、現場で犯罪や被害者と向き合ってきた経験や専門性を、行政官として地に足の着いた施策の企画・立案に生かすことができる魅力的な職種だと思います。皆さんと一緒に働くことができる日を心待ちにしています。

他省庁出向者として



宮内庁上皇侍従／平成19年 入庁

未知の世界で成長する

私は現在、宮内庁で上皇侍従を務めています。上皇侍従とは、上皇陛下の側近奉仕を務める者であり、国内外の情勢を陛下に御報告する、日々の行事が滞りなく進行されるよう対内外で調整を行うなどのほか、陛下への書状や献上品をお取り次ぎするなど陛下のお側で日常生活をお支えする役割も担っています。

事件捜査や暴力団対策に従事してきた私には全く未知の世界で、かつ身に余る御役目に緊張する日々ですが、自然を愛でられ、職員を含め関わる人々に常に笑みを絶やさず優しく応じられる上皇皇后陛下のお姿を間近で拝見することができ、心が洗われるような思いでいます。

私は、警察出身者として、皇族や皇居の警備を担う皇宮警察や警察庁との警備対策に関する連絡のほか、緊急事態が生じた際の

対応等の危機管理対策の策定も担当しています。両陛下の御身に危害が及ぶことは万に一つでもあってはいけませんので、神経を研ぎ澄ましながら対応に当たることもありますが、そういった時にこれまで警察官として培った知識や対応力が生かされていると感じています。

スペシャリストといっても、見方や考え方が偏ってはいけません。時には警察の外の世界を経験することは、視野が広くなり、様々な観点から警察組織や警察官としての自分を見つめ直す良い機会となる上、それにより正しく、自信を持って自分の専門性を深めていけるようになります。私は、この未知の世界での新しい経験により、警察官として、また一人の人間として磨かれ成長できていることを実感していますし、その機会があることに感謝しています。

交通安全対策の省庁横断的な司令塔として

総理官邸、内閣官房等と連携を図る政策立案者として

令和3年6月、千葉県八街市において、小学生5人が死傷する痛ましい交通事故が発生しました。この事故を受けて、政府では、内閣総理大臣をヘッドとする関係閣僚会議を開催し、「通学路等緊急対策」を決定しました。内閣府では、この緊急対策の進捗管理や取りまとめを行っています。

交通安全対策は、警察庁や国土交通省等が、それぞれ所掌に基づいて行っていますが、これらを政府一体として進めるためには、関係省庁間の調整が必要となります。また、子供の事故防止対策など、世論の反響が大きく、対策が急務な施策は、総理官邸等との調整も必要となります。これらの調整や連携を図る役割を内閣府が担っています。私は、冒頭の事故発生後、関係閣僚会議の開催、緊急対策の策定等、政策立案の担当者として、総理官邸、内閣官房、関係省庁との調整等に従事しました。このような業務は、スピードや調整力が求められ、厳しい一面もありますが、自ら携わった政策が政府全体の方向性となることを目の当たりにし、行政官として大きなやりがいと責任を感じています。

スペシャリストだから担える役割

一般職採用警察官は、専門分野に精通するからこそ、その分野における政策立案の最前線や、政府全体を調整する役割で活躍することができます。こうした機会を通じてステップアップできる魅力ある職種ですので、是非、警察庁の門を叩いてみてください。



内閣府政策統括官（政策調整担当）付参事官付参事官補佐／平成16年 入庁

専門性の向上～英国留学を通じて～

英国・リーズ大学／平成27年 入庁

私は現在、英国北部に位置するリーズ大学の修士課程において、テロ対策や安全保障学を研究しています。同大学はテロリズムや国際紛争に関する研究が盛んで、日々刺激的な環境の下で学業に励んでおります。

これまで私は、警察庁と都道府県警察で、国際テロ対策業務等に従事してきましたが、この分野の実務能力の向上につながる知識を習得し、海外で一層精進する必要性を痛感したため、英国留学は必然かつ最適な選択でした。

英国は大規模なテロ事件を幾度も経験していることなどから、テロ対策研究においても、軍事面・警察力による諸対策の強化のみならず、それらが社会にもたらし得る副作用、さらにはテロリズムの背景要因（難民問題・国際関係等）にまで踏み込んだ学際的な研究の蓄積が大変豊富に存在し、実務に有益な知見が多くあることから、この広く奥深い世界を堪能しつつ、今後の政策立案等に活かしていきたいと考えています。

また、アフリカ、中東そして東南アジア等における紛争学に関する授業も、自らのこれまでの視野の狭さを痛感するとともに、よりマクロな視点で物事を見る姿勢も学ぶことができるなど、大変有意義なものです。

海外留学は、語学力の上達や専門知識の習得はもとより、研究者や学生同士の人脈を広げられます。一般職採用警察官は、一流のスペシャリストとなり、活躍の場を広げるための機会がありますので、関心のある方はぜひ警察庁の門を叩いていただければと思います。

日本の治安への貢献～国際捜査協力を通じて～

在オランダ日本国大使館／平成24年 入庁

私は現在、在オランダ日本国大使館及び欧州刑事警察機構（Europol）で勤務しています。オランダと日本は400年以上の長い交流の歴史があり、その地理的な遠さにもかかわらず、近年では文化、経済等の多方面において関係が深まっています。また、多くの国際機関がその拠点を置いており、オランダは国際舞台においても重要な地位を占めています。

日本を「安全な国」と考える方も多いかと思いますが、実際には国際捜査協力なくして「安全な国」を築き上げることはできません。テロ攻撃、サイバー攻撃、薬物犯罪等は容易に国境を越えて発生するほか、AI（人工知能）といった新しい技術の犯罪への悪用等、治安をめぐる課題は山積しています。日本警察だけでこれらの問題に対処することは困難であるため、私はオランダ当局やEuropolで勤務する他国の担当者と連携強化に向けた協議や情報交換を日々行っています。例え小さな一歩だとしても、自分の活動が日本の治安に貢献できることに大きなやりがいを感じています。

海外勤務は、言語や文化、捜査における法的根拠の違いなど、問題に直面することも少なくありませんが、その分、貴重な経験が得られるほか、自分自身の視野も広がりますので、海外勤務に興味がある方は、是非一度警察庁に足を運んで欲しいと思います。

志と情熱を持つ皆様と一緒に勤務できる日を楽しみにしています。

警察庁 係長の1日

サイバー捜査課係長
平成28年 入庁

9:00 出勤

朝の日課はニュースチェックです。警察庁の業務は社会情勢と密接にリンクしていますので、情報収集は欠かせません。デスクに着いたら、コーヒーを飲みつつ一日の予定と業務の進め方を確認・整理します。今日も頑張ります。

10:30 都道府県警察からの質疑

都道府県警察から質疑が来しました。当課が行っている調査に関するもので、趣旨や内容を素早く、正確に回答します。自分が担当する業務は自分が一番詳しくなければなりません。係長としての力が試される瞬間です。

12:00 昼食

今日は同僚と中華を食べます。庁舎内にはレストランが複数あり、他省庁にお邪魔することもできますので、気分によって使い分けています。美味しい食事と楽しい会話で、午後に向けた英気を養います。

14:00 資料作成

調査の結果等を踏まえ、新たな施策の方向性を示す資料を作成します。サイバー警察の将来像に思いを馳せつつ、自らの現場経験と調査の結果に基づく地に足の着いた施策となるよう、内容を冷静・綿密に組み立てます。

16:00 決裁

作成した資料について、上司の決裁を受けます。完璧に作り込んだと思っていましたが、見落とししていた論点について鋭い指摘を受け、再検討を行うことに。議論を通じてより良い施策を作り上げていく過程は、とても面白いです。

19:00 退庁

やるべき仕事が終われば、明日の予定を確認して退庁します。夜は自宅でのんびりくつろいだり、同僚と飲みに行ったり、楽しみ方は様々です。しっかりリフレッシュして、明日も頑張ります。

休日

もともとインドア派の私ですが、最近カメラを買ったので、都内の観光地に出掛けては写真を撮っています。コロナ禍が収束に向かい、活気が戻りつつある街の様子を見ると、不思議と私も元気をもらえる気がします。

警視庁 警察署課長代理の1日

警視庁高井戸警察署 交通課課長代理
平成26年 入庁

8:00 出勤

通勤中は、読書やネットニュースのチェックをしています。業務に関係するものだけでなく経済情勢等の社会情勢全般を幅広く把握するとともに、各都道府県警察が事件や事故の広報をどのように行っているかも参考にしています。

9:00 決裁

前日の交通事故取扱い状況や捜査書類の決裁をします。警部という階級は警察庁係長の立場では起案者となりますが、警察署課長代理の立場では基本的に決裁者となり、今までの第一線勤務や警察庁勤務の経験を踏まえて部下に対して適切な指導をします。

10:00 定例会議

署長からの業務指示や署内各課との情報共有のため、課長代理以上の幹部出席の下に実施される会議に出席します。挙署一体となって様々な事件や事故に対応するために管内情勢や他課の動向を適切に把握するようにしています。

12:00 昼食

署内にある食堂で昼食を食べることが多いです。食事は健康管理において重要なので、栄養バランスの良い食事をとるよう心掛けており、午後からの業務に備えしっかりエネルギーを補給します。

14:00 捜査指揮

先日発生した交通死亡事故の実況見分を行います。現場に足を運び自ら捜査に従事することで、第一線勤務における実情を把握することができます。この経験は、今後の警察庁勤務における政策の企画立案業務に生かせると思います。

17:15 退庁

予定していた業務が終われば、明日以降の業務を整理して定時退庁します。退庁後は同僚や部下と飲みに行ったり、自宅で読書をしたりと明日以降に向けて英気を養うとともに、早めに就寝し体力回復に努めます。

休日

休日は、同期や友人と旅行に行ったり、一人の時は読書や資格取得の勉強をしたりしています。この日は同期と旅行に行き、乗馬をしました。休日にしっかりとリフレッシュすることで仕事へのモチベーションアップを図ります。



WORKING MOM&DAD

01

INTERVIEW

①出産・育児に関してどのような制度を利用しましたか？制度は利用しやすいでしょうか。

出産時には産前産後休暇と育児休業を取得し、復職後は、保育園の送迎のため育児時間を利用しています。妊娠時に、育児に関する制度の説明があり、どの制度を利用するか検討できましたし、職場では男性職員も育児休業を取得しており、制度を利用しやすい雰囲気がありました。

②育児取得前後で働き方はどう変わりましたか？考え方は？

勤務時間が限られている上、子供が急に体調不良になることもあるので、業務の細分化や、同僚との情報共有等の工夫をしており、上司も業務量や勤務時間に配慮してくれています。仕事と育児は忙しさの質が全く異なるので、自分の中での切り替えを大事にしています。

③今後の目標を教えてください。

仕事と育児のバランスを取りながら、警察庁で社会とともに変容する組織犯罪に対応するための施策の企画・立案に携わったり、都道府県警察で組織犯罪対策業務に従事したりして勤務したいと思います。育児については、警察庁の制度や行政サービス等もうまく活用し、子供が色々な経験ができるようにしてあげたいです。

④学生の皆さんにメッセージをお願いします。

出産前・復職前はやや不安でしたが、周囲の支えや充実した制度もあり、現在は育児と仕事の両立ができていると思います。警察は、男性社会のイメージがあるかもしれませんが、育児等を支援する制度や雰囲気は年々良くなっているので、男女関係なく仕事と家庭の両立ができる職場だと思います。

1日のスケジュール

06:00 起床・身支度
06:30 子供起床
08:00 保育園見送り
09:00 登庁
16:00 退庁
17:00 保育園お迎え
18:00 夕食
19:00 入浴
19:30 子供と遊ぶ
20:30 寝かしつけ
21:30 翌日準備
23:00 就寝

休日の過ごし方

子供と一緒に児童館や公園に行って遊んだり、遠出して親戚に会いに行ったりして親子共にリフレッシュしています。また、家事を効率的にするため、休日のまとまった時間に平日の食事の下拵え等もしています。



国家公安委員会事務官付補佐官
平成16年 入庁

WORKING MOM&DAD

02

INTERVIEW

DAD

警視庁巢鴨警察署生活安全課課長代理/平成24年 入庁

①出産・育児に関してどのような制度を利用しましたか？

妻の出産時には、配偶者出産休暇、育児参加休暇を取得し、入退院時の付き添い、出産の立会いをしました。また、第二子誕生時に約10か月、第三子誕生時に約1か月の育児休業をそれぞれ取得しました。

②男性として育休を取得する時、勇気は要りませんでしたか？

初めて育休を申し出る際は勇気が必要だったというのが本音です。しかし、実際に育休の取得を申し出たところ、上司や同僚にとっても快く受け入れてもらうことができました。

③育休取得前後で働き方はどう変わりましたか？考え方は？

育児中は、子供の体調不良等で、急遽、仕事を休まざるを得ないことがあります。そのため、普段から仕事の効率性を重視するようになりました。また、身をもって育児の大変さを知り、育児中の職員に従来以上に配慮できるようになったと思います。

④今後の目標を教えてください。

実際に育休を取得した先輩として、部下や後輩の職員が、仕事と育児を両立できるようサポートをしていきたいです。特に、男性職員には、ぜひ積極的に育休を取得してもらい、育児の大変さ、楽しさを自ら経験してもらえたらと思います。

⑤学生の皆さんにメッセージをお願いします。

警察庁では、育児を支援するための様々な制度が用意されています。必ず自分に合った仕事と育児の両立のスタイルが見つけれられると思います。仕事と同じくらいプライベートも大切という皆さんもぜひ安心して警察庁を目指してください。

1日のスケジュール

06:00 起床
06:30 子供起床、朝食
07:30 保育園見送り（妻が担当）
08:30 登庁
17:15 退庁
18:30 保育園、学童お迎え
19:00 夕食
20:00 入浴
21:00 翌日準備、就寝準備
21:30 寝かしつけ
23:00 就寝

休日の過ごし方

休日は、子供の習い事の付き添いをしたり、近所の公園に遊びに行ったりしているほか、家族でキャンプに行ったりして過ごしています。こうした休日の子供たちとの時間は、日々の仕事への活力となっています。

TALK SESSION

中堅職員座談会

参加者

入庁から概ね10年程度の各局職員

(A：生活安全局、B：刑事局、C：交通局、D：警備局)

1 入庁前と現在で警察庁のイメージにギャップはある？

「警察って厳しい？」

A：最初、警察って「厳しい」とか「呼出しが多い」と思っていました。自分は地元が北海道なんですけど、「もう二度と北海道には帰れない」って思っていました。

B：内定者の飲み会の時、泣いてたもんね？

A：もう帰れないと思ったから。でも、普通に帰れましたね。(一同笑)

人事：「呼出し」って実際そんなに多いの？

A：いえ、実際はほぼなかったですね。

「若手の意見も聞いてくれる」

C：階級社会だし、上下関係が厳しくて、上司から言われたことには、「はい」って聞くしかないのかな、って思っていました。でも、困ったり悩んだりすることがあれば、上司も含めて課題解決に向かって一緒に考えよう、という雰囲気です。役職に関係なく、自分の考え・思いをぶつけることができる。しかも、良い意見だと思ってもらえれば、たとえ若手の係長であっても採用してもらえる。思っていたより、堅苦しくないところがギャップでした。

人事：局によっても雰囲気ってちょっと違うのかな？

C：確かに交通局は「道路交通法」という大きな柱があるので、例えば、幹部から「こうした方がいいんじゃないの？」と指摘されても、「それは道交法上、このように規定されているのでこのような解釈になると考えます」と説明すれば、「ああ、そうか」と納得してもらえる場面もあります。また、課や係が違っても、思いは「交通事故を1件でもなくす」ということで共通しているので、「どうしたらいいか」と皆で考えていける局ですね。

2 警察庁の魅力は？

「スケールの大きな仕事」

D：私は警備局で勤務しているということもあり、より強く思うのかもしれませんが、やはり仕事のスケールは大きいですね。現在、国際テロ対策を担当していますが、テロ対策って日本だけが頑張っているだけなんですよね。世界中の友好国と一緒に、どのようにテロリストの資金源を断っていくかを考

えて、一丸になって対策を講じていく必要がある。しかも、国内で発生したテロだけでなく、海外で邦人が巻き込まれるようなテロが発生した場合も捜査するし、テロが発生しないようにしなければならない。「世界中の日本人を守る」というスケールの大きさに魅力を感じていますね。

「誰と働くか」

B：実際に仕事をしてみて、「誰と働くか」が大事だと思いました。警察庁や都道府県警察には、志の高い、熱い人が多くて、ユーモアに富んだ人も多いです。「日本の治安を良くしたい」という熱い志を持った人たちと仕事ができるのは魅力だと思います。

C：自分にとっての魅力は、「治安を守る」という、国家の基盤を支える業務に携わることができ、細かい考え方は各々で異なるけれど、同じ目的・思いを持つ多くの上司、同僚がいて、時には役職を問わず、自らの考えを持って熱い議論を交わすことができることですね。

3 今までの勤務を振り返って、「正念場」は？

「プレッシャーとやりがい」

B：現場勤務だと、警視庁勤務の時に担当した「偽装結婚事件」の女性被疑者の取調べですね。取調べの経験が少ない中で、重大事件の被疑者の取調べを担当することは、すごくプレッシャーでした。でも、上司からそんな重要な取調べを任せてもらえたことが、とにかく嬉しくて、「ここで結果を出したい！」と思った正念場でした。

人事：そういったプレッシャーのある仕事は大変だけど、終わってみれば良かったと思う？

B：そうですね。終わってみれば、そういった機会は自分を成長させてくれる、良いものだと思います。今、自分ができることよりも、少し背伸びした、できるかできないかくらいの仕事で、でも全力でやりきる。そうすると自分が一皮むけるというか、成長したなっていう実感は得られると思います。

4 学生に戻れるなら、もう一度警察庁を選ぶ？

C：振り返ってみて、これまでの仕事は決して楽なものではな

かったですが、「国民の安全・安心を守る」という目的に向かい、使命感を持って日々仕事に当たることを誇りに思っています。そうしたやりがいを感じているので、もう一度学生に戻っても警察庁を選択すると思います。

5 自分の子供が「パパ・ママみたいに警察庁で働きたい」と言ったらどうする？

A：子供が本当に自分の背中を見て、やりたいと思っているなら、応援します！

決して楽な仕事じゃないんですけど、国民のために働くことができるという仕事は、確実にやりがいを感じることが出来ます。だから、子供が挑戦したいという気持ちなら応援したいです。

C：子供という身近な存在が、親の背中を見て、警察庁で仕事をしていることを誇りに感じてくれていることは素直に嬉しいですね。

6 今後、どのようなスペシャリストになりたい？

B：警察庁の仕事って決して警察庁だけで完結しないと思うんです。都道府県警察があってこそその警察庁の仕事だと思うんです。だから、県警の考え方とか実態とかをよく理解して、警察庁と都道府県警察の橋渡しになるような仕事のできるスペシャリストになりたいです。

人事：約10年勤務してきて、「一人前のスペシャリスト」になったという感覚はありますか？

A：私の理想は、専門性を身に付けつつ、幅広い視野を持って、あらゆる事案に自信を持って的確に判断できることです。そういった判断の土台となるのが専門性だと思っています。そういった面で、まだ自信を持って判断できるほどではないので、まだまだ半人前だと思います。もっと頑張って、早くスペシャリストになりたいですね。

7 仕事をする上でのモットーは？

A：相手の立場に立って物事を考えることですかね。例えば、都道府県警察に調査を依頼する際には、自分の現場での経験を踏

まえて、相手にとって分かりやすい調査になっているとか、負担を掛け過ぎていないかななどを考えながら、効果のある調査ができるように心掛けていますね。

B：信頼関係を構築することですね。信頼関係がなくても一通りの仕事はビジネスライクにできると思います。でも、それ以上の良い仕事はできないですし、広がらないですし、進化はしないと思うんです。そこに相手との信頼関係があれば、もっと良い仕事ができたり、効率の良い仕事ができたりすると思うんです。だから、相手と良い信頼関係を作ること、信頼されるに足る仕事をするを心掛けています。

D：「いざというときの備え」ですかね。テロ事案は突然発生します。事案が発生してからやるべきことを確認していたのでは対応が遅れてしまうので、自分が何をしないといけないのか、心構えも含めあらかじめ準備しておくようにしています。

8 学生の皆さんへメッセージをお願いします。

B：警察庁の仕事って幅広いと思います。局によって求められる知識やスキルも違うと思います。現場と警察庁も違います。一つの課でも業務内容が全然違うこともあります。そうした幅広い業務や深い専門性の中には、あなたの能力を生かすことができる場がきっとあります！

A：言うまでもなく、仕事は人生の一部であって、色々な選択肢で迷うこともあると思います。自分が仕事に何を求めるのかをしっかりと考えた上で、選んでほしいです。私も就職活動の時にはすごく迷いましたが、今は全く後悔しておりません！

D：警察って皆さんにとって身近なところにあって、お子さんのなりた職業ランキングでも上位になることもあります。その中でも「警察庁」ってよく分からない組織だと思います。このパンフレットを見ていただき、少しでも関心を持っていただければ、ぜひ説明会にもご参加いただきたいです！

C：これまで当たり前だと思っていたことも含め、様々なことが変容している現代において、「国民の安全・安心を守る」という変わる事のない警察の使命に向かい、皆さんとともに働くことを楽しみにしています。

若手職員Q&A

Q 警察庁を志望した理由は？

- A**
- 人々の日常の安心安全を守るというやりがいのある仕事だと思ったから。また、現場の第一線と国の政策立案の両方の業務に携わることができる点に魅力を感じたからです。
 - 身近な人を含め多くの人の安心安全を守りたいと思ったからです。
 - 警察庁では、犯罪等により理不尽な思いをする人を一人でも多く救うことに貢献できると感じたからです。

Q 試験対策で特に頑張ったことは？

- A**
- 試験範囲が広いので、「これならできる」という強みがある分野を持てるように勉強したことです。
 - 模試を積極的に受験して、本番の形式に慣れるよう努めました。
 - 官庁訪問対策（面接練習）を頑張りました。

Q 官庁訪問はどんな準備をした？

- A**
- 自己分析を細かく行い、入庁してから自分が就きたい業務について整理しました。
 - 警察に関する記事を読んだり、日常生活を通して警察の抱える課題を考えたりするようにしていました。
 - 知識を付けるだけでなく、自分の考える課題やその課題に対して自分が何をしたいかを言葉にすることを意識して練習しました。

Q 官庁訪問の率直な感想は？

- A**
- 警察庁警察官の役割や具体的業務等、警察庁で働くイメージを膨らませることができました。
 - 警察の業務をより深く知ることができ、面接を通して人間としても大きく成長できる貴重な経験でした。

Q 警察学校はどうでしたか？

- A**
- 厳しい面もありましたが、これまでの人生で最も充実し、成長できた期間でした。
 - 警察官として勤務するために必要な「厳しさ」でしたが、同期に支えられ、乗り越えることができました。

Q 初めて制服を着て、現場に立った時にどう思いました？

- A**
- 警察官になったのだという実感に、身の引き締まる思いがしました。
 - 誇りと使命感を体現する時がきた、と思いました。

Q あなたにとって同期とはどんな存在？

- A**
- 困った時に一番頼りになる大切な存在です。
 - 他のどのような関係性とも異なる特別な存在であり、一生の仲間です。

Q 思い出に残っている上司・先輩から言われた一言は？

- A**
- 「できない理由より、どうやったらできるかを考えよう」という言葉です。この言葉を思い出すと、仕事に前向きに取り組むことができます。
 - 「失敗してもいい、チャレンジすることが重要なんだ」という言葉です。学校を卒業し、警視庁勤務が始まる時、不安だった自分に勇気を与えてくれました。

Q 警察庁での勤務は率直にどうですか？

- A**
- 入庁前は「堅い組織」というイメージでしたが、実際は風通しが良く、今は「しなやかな組織」という印象を抱いています。
 - 業務の幅の広さに驚くとともに、新たな知識を得ることができ、大変充実した日々を過ごすことができています。

Q 警察庁に入庁する前と入庁後のイメージのギャップは？

- A**
- 思ったよりもカジュアルで、業務の省力化・効率化を推進していたところでした。
 - 執務室の雰囲気が思ったよりも和やかでした。

Q 仕事にやりがいを感じる瞬間は？

- A**
- まだ大きな成果を得るような立場にないので、シンプルに上司から褒められた時にやりがいを感じます。
 - 自分が現場で学んだことを警察庁の業務に生かした時です。

Q 上司は厳しいですか？

- A**
- 厳しくありません。気兼ねなく業務等について相談しています。
 - 基本的に優しく、指導・指摘も的確なので勉強になります。

Q 職場の雰囲気は？

- A**
- 分からないことは周りに聞きやすく、コミュニケーションが取りやすい雰囲気です。
 - 周囲には同年代の同僚もいるので、アットホームな雰囲気です。
 - 若手職員や都道府県警察からの出向の方々皆さん前向きに仕事に臨んでおり、自分も頑張ろうと思える環境です。

Q どんなスペシャリストになりたい？

- A**
- 現場での経験を生かし、真に効果のある施策の立案・実行により、時代の変化に応じた警察活動の推進に貢献できるスペシャリストになりたいです。
 - 広い視野を持ち、柔軟な思考で仕事ができるスペシャリストになりたいです。
 - その分野では、なくてはならない存在に成長したいです。

Q 学生へメッセージをお願いします！

- A**
- 国民の安心と安全を守るという警察庁の仕事は、とてもやりがいの感じられる仕事です。ぜひ皆さんも、この世界に飛び込んでみませんか？
 - 現在、私は警視庁で勤務していますが、自分が人の役に立っていると実感する場面が多く、毎日とてもやりがいを感じています。受験勉強は辛く感じることもあるかと思いますが、たまにはリフレッシュしつつ、警察庁で働いている自分の姿を思い描きながら頑張ってください。お待ちしております！
 - 警察庁で一緒に仕事ができることを楽しみにしています！

採用Q&A

Q 警察庁警察官(スペシャリスト候補)はどの試験区分から採用されますか？

A 警察庁警察官(スペシャリスト候補)は、国家公務員採用一般職試験(大卒程度)の全区分から採用しています。技術系区分を受験予定の方もぜひチャレンジしてください！

Q 採用は警察庁本庁のみでしょうか？

A 警察庁警察官(スペシャリスト候補)は、本省庁採用のみになります。各管区警察局等において、警察庁事務官の採用を行っておりますが、業務内容やキャリアステップ等が異なりますので、よくご確認ください。

Q 受験地域は採用に影響しますか？ 関東甲信越地域で受験した方が有利でしょうか？

A どの地域で受験していただいても選考には全く影響しません。ご自身の都合の良い地域で受験してください。

Q 法学部出身の方が有利でしょうか？

A 出身学部による有利不利はございません。入庁後の研修で、法学等の業務に必要な知識を習得することができます。実際に、法学部以外の学部出身者(理系も含む)の職員も多数おりますので、ご安心ください。

Q 採用実績を教えてください。

A 例年10名程度を採用しており、近年、採用数は増加しております。

Q どんな人材を求めていますか。

A 警察庁警察官(スペシャリスト候補)の活躍するフィールドは非常に広く、業務の内容も多岐にわたります。このため、特定の能力を有していることが重要という訳ではありません。警察庁警察官として社会をより良くしたいという素朴な正義感と、チャレンジ精神を持っている方は、ぜひ警察庁を志望してください！



警察庁採用HP

皆さんに少しでも警察庁についてお伝えできるよう、
多様な説明会を開催しています！
ぜひ、お気軽に御参加ください！



警察庁マイページ2024

説明会の予約は、
こちらからマイページ登録を！

数ある採用パンフレットの中で、警察庁のパンフレットを手に取り、最後まで御覧いただき、ありがとうございます。

皆さんにとって、「警察」とはどのような職業でしょうか。

警察の仕事は、楽しいものばかりではありません。

時に厳しい現場で、時に厳しい業務をする必要もあります。

それでも、警察の仕事は、この世界をより良いものにするために

不可欠なものです。

警察の仕事は、あなたの周囲の人の笑顔を守るために不可欠なものです。

警察に少しでも関心を持って、このパンフレットを手にとられた皆さん

きっとあなたの心の中には、この世界をより良くしたい、という

熱い気持ちがあるのではないのでしょうか。

その気持ちがあれば、十分です。警察庁でお待ちしています。

警察庁警察官(スペシャリスト候補)採用担当